

須坂市教育委員会 6 月定例会 会議録

1 日 時 2025年 6 月27日（金）午後 1 時30分 ～ 3 時00分

2 場 所 消防本部 大会議室

3 出席した委員

教育長	勝山 幸則
教育長職務代理者	二ノ宮邦彦
教育委員	村石 忍
教育委員	湯本 理恵
教育委員	青木 十郎

4 説明のため出席した職員

教育次長	中村 健司
学校教育課長	若林 久人
子ども課長補佐	窪田 潤一
人権同和教育課長	高橋 克彦
文化スポーツ課長	寺沢 隆宏
生涯学習推進課長	寺澤 勝志
学校給食センター所長	村石 孝子
指導主事	北村 雅
指導主事	松木 智子
指導主事	西原 秀明
指導主事	宮崎 健
指導主事	松澤 裕子

5 事務局出席職員

庶務係長	宮崎 裕喜
庶務係	返町 美里

6 本日の会議に付した事項

(1) 学校等の状況報告について

(2) 議題

- 議案第40号 2025年度須坂市奨学生の採否について
- 議案第41号 須坂市子ども・子育て会議委員の委嘱について
- 議案第42号 須坂市立博物館協議会委員の委嘱について

(3) 協議

(4) 一般行政報告

- ア 教育長出席行事の報告について
- イ 行事共催等承認の報告について
- ウ その他

(5) その他

- ア 教育委員会行事予定について
- イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
- ウ 中学生平和学習事業について
- エ 三浦市親善交流事業行事・式次第について
- オ その他

教育長が開会を宣した。

新任の青木 十郎委員について教育長より紹介があった。

青木 十郎委員より挨拶があった。

また、議案第40号については個人情報が含まれているため、5 その他にて扱う旨教育長より説明があった。

(1) 学校等の状況報告について

教育長が説明を求め、指導主事が説明した。

- ・小学校、中学校ともに転出があったため1名ずつ減少している。
- ・学校事故について、自転車に関する事故が2件。ヘルメットの着用などを改めて学校から児童生徒へ周知するよう依頼した。

- ・自動車との接触事故が1件。運転手が声をかけてそのまま走り去ったという事案だったため、改めて交通事故時の対応について児童生徒へ指導を行うよう学校教育課より依頼した。
- ・不登校児童生徒について、昨年同時期と比較すると小学校は6名、中学校は3名減となった。
- ・外国籍児童について、日本語指導が必要な児童生徒について、小学校・中学校共に5名。どのような支援が必要かしっかり聞き取りをしていきたい。市では日本語指導について支援員の先生方に指導をしていただいている。
- ・小学校の峰の原自然体験学習について、全学校が無事に終了した。

教育長：

- ・年度当初の事故が多かったが、その後はどうか。

指導主事：

- ・学校事故の数として落ち着いてきている。昨年度よりは少ないが、割合としては同じくらいで推移している。

教育長：

- ・不登校について、5月が昨年より減少したのはいい傾向である。居場所づくり・早期発見・開かれた学校について、前者2つは教育委員会でも力を入れて取り組んでいるが、開かれた学校についても今後力を入れていきたい。

教育長：

- ・外国籍児童の指導について教育委員会の取り組みはどうか。

学校教育課長：

- ・対応する子どもの言語が多くなってきたため、今は講師について各学校へ派遣しているが、今後は須坂市に1カ所日本語学級を作り、そこで指導していただく方向を考えている。

教育次長：

- ・現在支援員について市職員として雇用しているが、日本語学級をつくることによって県費の職員の配置も可能となる。指導やケアについてさらに深くできるという理由もある。

学校経営概要について指導主事より説明があった。

- ・授業日数について小学校200日以下の学校があるが、大規模改修が入るため減っている。
- ・夏休みの日数について33日以上のある学校についても、大規模改修のため。
- ・年間授業時数について、90日を超える小学校が3校あるが、行事のための準備について授業時数へ数えることとしたため。
- ・家庭訪問について、昨年度家庭訪問をしない学校は4校であったが、今年度は7校となった。懇談会が代わりとなっているため今後も減る傾向にあると考えられる。
- ・小学校の希望者への学習補充指導については昨年度と同じ結果となった。
- ・小学校の不登校児童に対する部屋の設置については、全学校完了した。
- ・中学校について、家庭訪問は今年度も全学校で実施していない。
- ・学習塾についても昨年度とほとんど変化がなかった。
- ・通学方法について、自転車通学について昨年度101名のところ、今年度は130名となった。

委員：

- ・表の見方について。学習塾の欄の留守家庭数とは何か。

指導主事：

- ・子どもの帰宅したときに誰もいない家庭についてそう記載した。

委員：

- ・学習塾とは関係ないのか。

指導主事：

- ・関係ない。

教育長：

- ・時間割の固定式、スライド、併用について説明がほしい。

指導主事：

- ・固定式とはその名のとおり固定した時間割のこと。スライド式とは授業に番号を付け、上から順にやっていき、終わったところでまた初めに戻る。

教育長：

- ・それぞれのメリット、デメリットがあるか。

指導主事：

- ・固定式は見通しが持てるが時間割に融通が利かない。スライド式は授業に穴が空かないが、その分1日でどこまで終わるかわからないため見通しが持ちにくい。

委員：

- ・社会科見学については全校やっているのか。

指導主事：

- ・やっている。小学校は社会科の授業とも密接にかかわってくるため全校でやっている。

委員：

- ・教育課程について、中学校の教科選択が未実施の学校が4校。他地域では教科選択があるのか

指導主事：

- ・教科選択については、長野県は少ない。

委員：

- ・授業の持ち時間について非常に多く見えるが、平均的なのか。

指導主事：

- ・平均ではある。毎年このくらいの時間になるが、本当はもっと少ないほうが授業研究などに充てられる。だが現実的に難しいところもある。

委員：

- ・小学校で通知表がないところがあるが、どのような理由か。あったほうがいいか、ないほうがいいのかの議論についてもどのような状況になっているのか。

指導主事：

- ・教員や児童、保護者にも説明し、通知表をなくした学校がある。保護者面談を毎学期行うことで通知表の代わりとしている。
- ・通知表の記載の仕方については学校によって違う。学期で出さず前後期で出す学校もある。

委員：

- ・通知表をなくして不都合はないのか。

指導主事：

- ・今のところ不都合があるという声はない。現在は通知表だけで判断していない学校のほうが多く、評価の方法も多様化している。

委員：

- ・教育課程についてどのように決めているのか。各学校の裁量でやっているのか。

指導主事：

- ・教育課程は各学校で決定して教育委員会に報告をもらっている。

教育長：

- ・学校の特色や規模によってできることが違うため、各学校が決めている。ただ教育委員会でも把握しなければいけないものであるため、報告をもらっている。またこの情報は県にも報告される。

(2) 議題

議案第41号 須坂市子ども・子育て会議委員の委嘱について
教育長が説明を求め、子ども課長補佐が説明した。
特に意見質問なく承認された。

議案第42号 須坂市立文化財審議会委員の委嘱について
教育長が説明を求め、文化スポーツ課長が説明した。
特に意見質問なく承認された。

(3) 協議

なし。

(4) 一般行政報告

ア 教育長出席行事の報告について
教育長が説明した。

イ 行事共催等承認の報告について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

7件中6件承認。共催1件、後援5件。新規はなくすべて前年度より引き続き継続の行事。

ウ その他
なし。

(5) その他

ア 教育委員会行事予定について
教育長が説明を求め、各課長が説明した。

イ 須坂市教育委員会主催・共催大会等への出席について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

ウ 中学生平和学習事業について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。

エ 三浦市親善交流事業行事・式次第について
教育長が説明を求め、子ども課長補佐が説明した。

ウ その他
議案第40号 2025年度須坂市奨学生の採否について
教育長が説明を求め、学校教育課長が説明した。
特に意見質問なく承認された。

教育長が閉会を宣した。